



1 地区の概況

- ◆区の中央部から南に延びる細長い地区で、南は泉区に接しており、18の自治会があります。
- ◆地区内にはスポーツセンター、コミュニティ・スクール、小中学校、特別支援学校等の公共施設や市営団地集会所、「あつて～南瀬谷」があり、活動の拠点多くあります。
- ◆他地区と同様に少子高齢化が進んでいます。特に、65歳以上の割合は、12地区の中で2番目に高くなっています。
- ◆地区の中央部には大規模な公営住宅、北・南側は戸建住宅を中心とした構成となっています。

2 第1期・第2期で取り組んだ主な活動や事業

〈第1期〉具体的な活動が生まれました

- ◆地域住民の交流の場（高齢者サロン4か所）・こどもの遊び場（プレイパーク）の充実やたくさんの方が集えるイベントの開催により地域住民同士の交流の輪が広がりました。
- ◆福祉の総合活動拠点として「あつて～南瀬谷」ができました。
- ◆お助けボランティア活動や住民同士の助け合いの輪が広がり始めました。

〈第2期〉総合的な課題に取り組みました

- ◆地域サポートチームを中心に人材発掘に取り組みました。「地域活動への協力アンケート」（回答200名以上）を実施し、「みなみせやサポーターズ」を発足しました。現在、約30人の登録があり、地域のイベントに協力いただくなど、多くの方が地域の活動に参加できる仕組みが始まりました。
- ◆コミュニケーションチームを中心に「あいさつ運動」を展開しました。小中学生のポスター・標語の募集・展示、啓発グッズ配布、バスの車内放送、街頭運動、あいさつ憲章の制定などを実施し、あいさつをきっかけとしたコミュニケーションの輪を広めています。
- ◆「みなみせや情報通信」を発行し（年2回）、地域の情報を発信することができました。

3 第3期計画に向けての課題

第2期では人材発掘や地域交流など地域の総合的な課題に取り組んできました。一定の成果を得ることができましたが、さらに進めていく必要があります。

- ◆取組の輪をさらに広げ、多くの方が活動に参加できる地域にしていきます。
- ◆自治会単位まで活動を広げ、住民全体で活動を展開していきます。
- ◆これまでの取組を「日頃の見守り」や「災害時の助け合い」へ発展させていきます。

4 推進母体

南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会（推進協）
南瀬谷自治連合会、南瀬谷地区社会福祉協議会、他協力メンバー

5 第3期計画

